

## 原形不定詞

### ポイント

- 「(人)に(思いどおりに)～させる, するのを許す」と言うときは、<let+人+動詞の原形(原形不定詞)～>で表します。

**例文 ①** Let me give you some examples.  
いくつか例をご提示しましょう。(あなた方にいくつかの例を、私に提示させてください。)

- 「(人)が～するのを手伝う」と言うときは、<help+人+動詞の原形(原形不定詞)～>で表します。

**例文 ②** I'll help you carry the books.  
本を運ぶのを手伝いますよ。(私はあなたが本を運ぶのを手伝います。)

- 「(人)に(強制的に)～させる」と言うときは、<make+人+動詞の原形(原形不定詞)～>で表します。

**例文 ③** His performance always makes people smile.  
彼のパフォーマンスはいつも人々を笑顔にします。

## 練習問題

次の日本語を英語にしましょう。

- (1) 彼は私が宿題をするのを手伝ってくれました。

He \_\_\_\_\_ me do my homework.

- (2) ユミは弟に彼女の自転車を使わせてあげませんでした。

Yumi didn't \_\_\_\_\_ her brother \_\_\_\_\_ her bike.

- (3) 彼女は彼を長い間待たせました。

She \_\_\_\_\_ wait for a long time.

# 練習問題の解答

- (1) helped
- (2) let, use[ride]
- (3) made him

## 解説

- (1) 〈help+人+動詞の原形(原形不定詞)〜〉の文。
- (2) 〈let+人+動詞の原形(原形不定詞)〜〉の文。「ユミは弟に彼女の自転車を使わせてあげました。」だと, Yumi let her brother use her bike.となる。  
letは不規則に変化する動詞で, 過去形もletであることに注意。
- (3) 〈make+人+動詞の原形(原形不定詞)〜〉の文。「人」のところに代名詞が入る場合は目的格を使う。